



犬猫の迷子札の普及 多機能型住居の意義

丸山 昌人
(公明党)

質問 大切なペットが迷子になって収容されないよう、迷子札やマイクロチップの装着が有効と考える。動物愛護センターのキャラクターで迷子札を作成し、イベントで配布したり、不妊・去勢手術時にマイクロチップの装着を応援するなどできないか。

答弁 マイクロチップの普及率は、欧米では高いが、日本では5%未満であり、認知度も低い。飼い主へ返せない事例を防ぐため、マイクロチップや迷子札等の装着を普及させていく必要がある。イベントや広報高崎、ホームページ等で広く啓発しているが、今後も人と動物が幸せに

共生できる社会の実現に向け努力したい。

質問 連雀町に建設予定の多機能型住居は、高齢者の安心、地域の活性化という市政の課題を民間の力を活用して、解決を図るものと認識しているが、その意義と現在の状況は。

答弁 多世代交流のコミュニティの創出を目指し、世代を超えて利用できる複合施設を造ることとで、中心市街地に新しいタイプの拠点をつくり出すものである。現在、着工に向け事業予定者と協議を進め、施設内容や基準、国からの補助金等について国土交通省とも協議している。



総合交通の課題と対策 子ども・子育て支援事業計画

竹本 誠
(日本共産党)

質問 誰でも、どこにでも移動できる権利を認め合う合意形成が求められており、公共交通の改善には行政のトップの姿勢が決定的だが、移動権に対する市長の見解は。

答弁 移動権を述べる立場にはないが、市民が移動するための手段は重要な課題であると認識している。市民がどのような移動手段を必要としているのかを把握して、総合的に公共交通の

整備に当たりたい。

質問 中心市街地の公共交通政策の見解は。

答弁 公共交通の利用を促すには、交通体系を整備するとともに、乗り継ぎをスムーズにするなど、利便性を高めていく必要がある。公共交通体系の整備については、引き続き検討、推進していきたい。

(P9参照)

質問 子ども・子育て支援事業計画のパブリックコメントを来

さらに詳しい内容は会議録で

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、市議会ホームページ(会議録検索)や次の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。また、今回の本会議の内容は11月下旬に公開予定です。

市民情報センター(市役所1階)・高崎市立図書館(中央図書館、箕郷図書館、群馬図書館、新町図書館、榛名図書館、山種記念吉井図書館)・倉渕公民館図書室

年1月に計画しているが、市民の意見を条例に反映させるの間に合うのか。

答弁 子ども・子育て支援新制度の施行に伴う各種基準を定める条例の検討に当たっては、子ども・子育て会議にて保護者等の意見を聞き、準備を進めたい。パブリックコメントの実施及びその時期は、事業計画の内容を整理して、新制度の実施に支障がないよう検討したい。

委員会等の記録

7月23日から10月17日までに開催された常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会等の開催状況と主な協議内容を掲載します。

常任委員会

総務教育	9/16	議案の審査
	10/15	高崎市文化賞受賞者の決定 ほか
保健福祉	9/17	議案の審査、水痘・高齢者用肺炎球菌ワクチンの定期接種及び任意接種への助成の実施
	9/26	発言の取り消し
	10/15	子ども・子育て支援新制度に係る各基準を定める条例の骨子(案)に関するパブリックコメントの実施
市民経済	9/18	議案の審査、「第37回高崎市民の消費生活展」の開催 ほか
	10/16	セアカゴケグモ発見情報に伴う本市の対応と調査結果 ほか
建設水道	9/19	議案の審査、ドッグラン広場の名称とロゴマークデザインの募集 ほか
	10/16	浜川運動公園拡張事業に伴う事業認定書の提出及び事業計画書の縦覧

特別委員会

都市集客施設調査	8/18	都市集客施設整備の進捗状況
	9/22	議案の審査、都市集客施設の管理運営
災害対策	8/18	大雪被害検証に基づく当面緊急に取るべき改善措置
斎場・環境施設建設調査	8/19	高崎市新斎場建設工事の工程(案) ほか
総合交通対策	8/19	支所地域の公共交通体系の変更及びぐるりん等の実績
議会運営委員会	8/29 9/3 9/9 9/24 9/25	第4回市議会定例会に関する協議
	9/26	次期定例会に関する協議
	9/2	平成25年度議会費決算
	9/24	追加議案
各派代表者会議	9/24	追加議案
広報委員会	10/17	議会だより第246号の編集に関する協議

委員会審査

各常任委員会及び都市集客施設調査特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑・答弁の一部を掲載します。

総務教育常任委員会

質疑 昨年度購入した水防用の備品の内容は。また、想定している災害に対応できるだけの資機材は、そろっているのか。

答弁 土のう袋や水防用のブルーシートなどの消耗品を購入しており、3か所の水防倉庫には、災害に対応する資機材を配備している。

質疑 旧新町屑^{くずいど}紡績所建造物調査の結果と今後の対応は。

答弁 工場母屋は、明治10年の創建当初の建物がほぼ残っていること、その他の工場関連施設6棟も明治期に建てられていることが確認された。今後は国の重要文化財指定に向け、文化庁や関係者と協議を進めていきたい。

保健福祉常任委員会

質疑 母親の負担を軽減するための産後ママヘルパー派遣事業は、利用者がもっと多くてもよいのではないか。

答弁 平成25年度の利用人数は44人であるが、利用回数では512回であり、平成24年度との比較では65回増えている。

質疑 こども発達支援センターの学校訪問事業は、本市のすべての小・中学校が網羅されているのか。

答弁 小・中学校への学校訪問は毎年行っており、特に新小学1年生へは全校訪問している。また、小・中学生で、学校側の要望がある場合には随時、訪問している。

市民経済常任委員会

質疑 1人1日当たりのごみ排出量の推移と減量化への取り組みは。

答弁 平成21年度に1,082グラムだったごみ排出量が、25年度は1,043グラムとなり、5年間で39グラム減少した。ごみ減量化への主な取り組みは、出前講座や広報高崎等による啓発、環境パトロールの実施、粗大ごみとして出された家具類の無償配布や生ごみ処理機への補助等を行い、25年度からは有価物集団回収として古着、古布や小型家電も回収している。

質疑 高チャリ利用者へのモラル向上の啓発や周知は、どのように行っているのか。

答弁 サイクルポート外に駐輪した自転車には、利用時間などの注意警告を貼るなどの対策をしている。さらに、高チャリを応援する学生ボランティアとの連携により、モラル向上の啓発ポスターやチラシを作成し、高崎駅周辺で配布をしている。

建設水道常任委員会

質疑 橋りょう長寿命化事業のこれまでの実績は。

答弁 平成23年度に橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、補修が必要とされた橋りょう93橋のうち、昨年度までに17橋の補修工事を行った。なお、昨年度は吹屋橋、上並榎自転車道橋、保渡田橋の3橋の補修工事を行った。

質疑 スマートインターチェンジを活用した物流等調査委託料では、どんなことを行ったのか。

答弁 高崎玉村スマートインターチェンジ周辺の拠点性を生かし、本市を中心とした群馬県の農産物、新潟県・茨城県・東北地方の海産物、飲食施設など、内陸最大の販売拠点の構築を目指し、施設の基本的な考え方について調査を行った。



高崎玉村スマートインターチェンジ

都市集客施設調査特別委員会

質疑 都市集客施設等建設基金をどのように運用しているのか。

答弁 基金の運用については市内の金融機関に積み立て、平成25年度の利子収入185万4,793円と合わせた25年度末の基金残高は、40億185万4,793円である。

質疑 新体育館の敷地周辺防砂措置工事の内容は。

答弁 新体育館建設敷地からの砂ぼこりで、近隣の方に迷惑をかけないように当初は防砂シートを敷設し、現在は、建設業者が近隣住宅との間に高さ3.6メートルの工事用仮囲いを設置した。